

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

<b>Subject / Course / Grade Level</b> 教科 / 科目 / 学年	高校2年/本科・SEC選択者	<b>Textbooks</b> 使用教科書	地理歴史科/世界史B	<b>Class hours</b> 時間数	4時間 / 週
---	----------------	---------------------------	------------	---------------------------	---------

1学期 中間試験

<b>Name of Unit, Project</b> 単元	古代中国（中国文明～魏晋南北朝時代）	<b>Materials</b> 教材	『改訂版 世界史B』山川出版・各種資料
---------------------------------	--------------------	---------------------	---------------------

<b>Unit Description</b> 単元の概要	古代中国の歴史を学習する。1年時に学習した内容を復習しながら各地域の古代文明の共通点と相違点を明らかにする。
----------------------------------	--

Content Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3	B3 儒学などの思想が時代ごとにどのように権力とかかわってきたかを考えることができる。	C3	A3	B3 「諸子百家」などの思想がその後の中国史の展開にどのような影響を与えたかを考える。	C3
好	A2 歴史的事象について説明できる。	B2 各時代の特徴を理解し説明できる。	C2	A2 「封建制」など古代中国文明を表す用語を説明できる。	B2 春秋戦国時代など各時代ごとの特徴を理解してまとめることができる。	C2
知	A1 基本的な歴史用語や概念・地理を理解している。	B1 古代中国の歴史の展開を理解できている。	C1 古代帝国の特徴について理解し現代との共通点をしてきできる。	A1 「封建制」・「郡県制」などの用語を理解する。	B1 古代中国の歴史の展開を理解する。	C1 秦・漢帝国の特徴とローマ帝国など古代文明における帝国の特徴を多文化共生の観点から考える。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

<b>Others</b> 備考	<評価方法> <ICT>
---------------------	-----------------

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

<b>Subject / Course / Grade Level</b> 教科 / 科目 / 学年	高校2年/本科・SEC選択者	<b>Textbooks</b> 使用教科書	地理歴史科/世界史B	<b>Class hours</b> 時間数	4時間 / 週
---	----------------	---------------------------	------------	---------------------------	---------

1学期 期末試験

<b>Name of Unit, Project</b> 単元	中世中国（隋・唐～五代十国）、イスラーム世界の形成と発展	<b>Materials</b> 教材	『改訂版 世界史B』山川出版・各種資料
---------------------------------	------------------------------	---------------------	---------------------

<b>Unit Description</b> 単元の概要	中世中国の歴史を扱う。特に唐が東アジア世界にどのような影響を与えたかを周辺諸国の歴史から概観する。また、唐滅亡によって中国の社会が劇的に変化する過程を学習する。イスラーム世界についてはイスラーム教の特質やその広がり、またイスラームが各地で受容された理由などについて学習する。
----------------------------------	---

<b>Content Standards</b> 評価規準	<b>Learning Objectives</b> 学習内容
-------------------------------	---------------------------------

楽	<b>A3</b>	<b>B3</b> 唐が東アジア世界に与えた影響、イスラーム教がユーラシア世界に与えた影響について考えられている。	<b>C3</b> 社会が大きく変化する時代はどのような特徴があるかを歴史から考え現代社会で起こりうる変化を考えることができる。	<b>A3</b>	<b>B3</b> 唐が東アジア世界に与えた影響とイスラーム教がユーラシア世界に与えた影響を比較し類似点と相違点を考える。	<b>C3</b>				
	好	<b>A2</b> 歴史的事象について説明できる。	<b>B2</b> 各時代の社会の変化について説明することができる。				<b>C2</b>	<b>A2</b> 「三省六部」や「羈縻政策」などの用語について説明できる。	<b>B2</b> 「安史の乱」前後の中国社会の変化やカリフの性格の変化など各時代の特徴について説明する。	<b>C2</b> 唐滅亡後の五代十国時代のように、社会が大きく変化する時代の特徴と現代社会における変化の特徴を比較して考える。
	知	<b>A1</b> 基本的な歴史用語や概念・地理を理解している。	<b>B1</b> ・隋から唐、五代十国にいたる中国史の過程を理解している。 ・イスラーム教の誕生から受容までを理解している。				<b>C1</b>	<b>A1</b> 「冊封体制」・「門閥貴族」などの用語を理解する。	<b>B1</b> ・隋から唐、五代十国にいたる中国史の過程を理解する。 ・イスラーム教の誕生から受容までを理解する。	<b>C1</b>
	<b>Recognition</b>	<b>Logical Thinking</b>	<b>Creative Thinking</b>							

<b>Others</b> 備考	<評価方法> ・ワークシート・小テストの実施 <ICT>
---------------------	---------------------------------

MITA International School Syllabus 2018  
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Subject / Course / Grade Level 教科 / 科目 / 学年	高校2年/本科・SEC選択者	Textbooks 使用教科書	地理歴史科/世界史B	Class hours 時間数	4時間 / 週
--	----------------	--------------------	------------	--------------------	---------

2学期 中間試験

Name of Unit, Project 単元	中世ヨーロッパ、五代十国～元	Materials 教材	『改訂版 世界史B』山川出版・各種資料
-----------------------------	----------------	-----------------	---------------------

Unit Description 単元の概要	中世ヨーロッパではローマ帝国の影響と東西ヨーロッパの特質を比較しながら学習する。また、11世紀以降のヨーロッパ世界の拡大についてユーラシア大陸との関わりから俯瞰していく。その際、「モンゴルの平和」による東西交渉とその影響についても概観する。
---------------------------	--

Content Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3	B3 気候が歴史に与えた影響について経済史の観点から理解し説明できる。	C3	A3	B3 気候の観点から東西の中世の歴史の類似点について特に経済面から学習する。	C3
好	A2 歴史的事象について説明できる。	B2 ヨーロッパとアジアの関係について具体的な事例を挙げながら述べるができる。	C2 現代社会と中世社会の類似点について具体的な事例を挙げながら考察できている。	A2 フランク王国とローマ＝カトリック教会の提携や13世紀の東西交渉の様相について説明できる。	B2 ・ヨーロッパとアジアがどのように関わっていたかを理解する。	C2 現代社会と中世社会の類似点について具体的な事例を挙げながら考察する。
知	A1 基本的な歴史用語や概念・地理を理解している。	B1 ・中世ヨーロッパの特質を理解している。 ・宋から元に至る社会変化について理解している。	C1 ・東西交渉がユーラシア大陸の歴史にどのような影響を与えたか理解できている。	A1 「封建制度」、「士大夫」などの用語を理解する。	B1 ・中世ヨーロッパの特質について他の地域と比較しながら理解する。 ・宋から元に至る社会の諸相について理解する。	C1 ・東西交渉がユーラシア大陸の歴史にどのような影響を与えたか理解する。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> ・ワークシート ・小テストの実施 <ICT>
--------------	----------------------------------

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

<b>Subject / Course / Grade Level</b> 教科 / 科目 / 学年	高校2年/本科・SEC選択者	<b>Textbooks</b> 使用教科書	地理歴史科/世界史B	<b>Class hours</b> 時間数	4時間 / 週
---	----------------	---------------------------	------------	---------------------------	---------

2学期 期末試験

<b>Name of Unit, Project</b> 単元	近世中国史（明・清）、イスラーム世界の成熟	<b>Materials</b> 教材	『改訂版 世界史B』山川出版・各種資料
---------------------------------	-----------------------	---------------------	---------------------

<b>Unit Description</b> 単元の概要	アジアにおける近世を扱う。近世中国史では明・清など各王朝の特徴を概観するほか、冊封体制下における両王朝の対外関係に注目する。また、清について異民族支配の方法などについて同時期のイスラーム世界と比較していく。イスラーム世界についてはオスマン帝国の統治制度を概観しながら中国史と比較しながら異民族支配について考察する。
----------------------------------	---

Content Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3	B3	C3	A3	B3 古代帝国と近世の帝国の類似点と相違点について自ら比較し述べることができる。	C3
好	A2 歴史的事象について説明できる。	B2 各地域を支配した帝国の異民族支配について説明することができる。	C2	A2 「北虜南倭」や「コンスタンティノープルの陥落」などの歴史的事象の意味を説明する。	B2 ・清とオスマン帝国の異民族支配の類似点と相違点を比較する。	C2
知	A1 基本的な歴史用語や概念・地理を理解している。	B1 ・14～16世紀にかけて歴史を理解している。 ・各地域の政治・社会の特徴を理解している。	C1 現代社会における民族問題と帝国支配の関わりから理解をしている。	A1 「倭寇」、「辮髪」、「デヴシルメ」などの用語を理解する。	B1 ・14～16世紀にかけての東アジアと西アジアの繋がりを理解する。 ・各地域の政治・社会の特徴を理解する。	C1 現代社会における民族問題についてアジアの帝国との関わりから理解を深める。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

<b>Others</b> 備考	<評価方法> ・ワークシート ・小テスト <ICT>
---------------------	-------------------------------

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

<b>Subject / Course / Grade Level</b> 教科 / 科目 / 学年	高校2年/本科・SEC選択者	<b>Textbooks</b> 使用教科書	地理歴史科/世界史B	<b>Class hours</b> 時間数	4時間 / 週
---	----------------	---------------------------	------------	---------------------------	---------

3学期 学年末試験

<b>Name of Unit, Project</b> 単元	近世ヨーロッパ	<b>Materials</b> 教材	『改訂版 世界史B』山川出版・各種資料
---------------------------------	---------	---------------------	---------------------

<b>Unit Description</b> 単元の概要	大航海時代・ルネサンス・宗教改革など近世ヨーロッパについて学習する。中世世界との繋がりについて考えながらこれら3つの事象が同時期に起こり新しい価値観を生み出していったことを理解する。同時にこの時期から本格的なグローバル化が開始されたことを具体的なモノを通して考察していく。
----------------------------------	--

Content Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
<b>楽</b>	<b>A3</b> 「世界商品」を自ら定義し具体的な物品を提示できる。	<b>B3</b>	<b>C3</b> ・「グローバル化」の功罪について、大航海時代における具体的事例を元に考察しあるべき「グローバル化」について自ら結論を出すことができる。	<b>A3</b>	<b>B3</b>	<b>C3</b> ・「グローバル化」の功罪について、歴史的事象や元に考察しあるべき「グローバル化」について自ら結論を出す。
<b>好</b>	<b>A2</b> 歴史的事象について説明できる。	<b>B2</b> ・近世ヨーロッパの拡大がアメリカやアジアに与えた影響を「銀の流通」やなど具体的な事象を挙げながら説明できる	<b>C2</b>	<b>A2</b> ルネサンスや大航海時代の背景、宗教改革の展開などについて説明できる。	<b>B2</b> ・銀の流通やイエズス会士の活動がアジアとヨーロッパにどのような影響を与えたか説明できる。	<b>C2</b> ・大航海時代の開始による「グローバル化」の功罪について現代社会との関わりから考察することができる。
<b>知</b>	<b>A1</b> 基本的な歴史用語や概念・地理を理解している。	<b>B1</b>	<b>C1</b>	<b>A1</b> 「ルネサンス」、「世界商品」、「アウクスブルクの宗教和議」などの用語を理解する。	<b>B1</b> ・近世ヨーロッパの拡大がアメリカやアジアに与えた影響を理解する。 ・ルネサンスや宗教改革によって新しい価値観が誕生したことを理解する。	<b>C1</b>
	<b>Recognition</b>	<b>Logical Thinking</b>	<b>Creative Thinking</b>			

<b>Others</b> 備考	<評価方法> ・ワークシート ・小テスト <ICT>
---------------------	-------------------------------